



クロッカス(星組庭)

つながり

自ら動き、感じ、楽しむ ~笑顔あふれる幼稚園~
~やさしく かしこく たくましく~

第 14 号

R4. 3. 17

山口大学教育学部附属幼稚園

副園長 大森 洋子

♪ よい子になって続きますよ～ ♪

星組さん、ご卒業おめでとうございます。花組さん、風組さん、今年度の修了おめでとうございます。今年もコロナ禍の生活となりましたが、このような状況であっても、子どもたちはしっかり遊びしっかりかかわって、「やさしく・かしこく・たくましく」成長してくれました。子どもたちの“可能性”と“伸びる力”は本当に素晴らしいです。いつの日か、「コロナのときの子どもたち」と言われる日が来るのかもしれませんが。それが人との接触が苦手とかの意味ではなく、困難なことも乗り越えられてたくましい、という意味で使われるといいなと思っています。私たち教職員もそう願いつつ微力ながら努力し、工夫を重ねて参りました。数々のご協力ありがとうございました。

卒業式にVTR出演した風組さんの歌の中に「♪ぼくたち、わたしたち、よい子になってつづきますよ♪」というフレーズがあります。自分一人が大きくなるのではなく、「ぼくたち、わたしたち」が一緒に「つづいていく」のだというこのフレーズが素敵だなと思っています。子どもたちは、お兄さんお姉さんをモデルにしながら、「よくなるよ」と思って前に進んでいます。星組さんの視線の先には小学生がいます。前を向いて、今日よりも楽しく、豊かな「明日」に向かって伸びていく子どもたちの姿がずっと続いていくといいなと思います。

保護者の皆様には、多方面にわたるご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。コロナ禍の保育では、皆様にご理解とご協力をお願いすることが多く、特に、貴重な幼稚園時代のお子さんの園生活の様子を実際に見ていただいたり一緒に楽しんだりしていただく機会が少なかったことを大変心苦しく思っております。状況を理解し、寛容に受け止めて下さったことには、ただただ感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。



会場をきれいに飾り付け

プレゼントどうぞ・ありがとう

「星組さんにお話したい」

始めのことば・終わりのことば

お別れ会(3/11): 星組さんとのお別れ会を開きました。風組さんは、前日に椅子を並べたり飾り付けたりして自分達で会場を準備し、「明日お別れ会を開きます。来てください」と星組さんを招待しに行きました。当日は、「はじめのことば」や「終わりのことば」をみんなで言って会の進行もしました。プレゼントの「鉛筆立て」は、瓶に粘土を付けたり色やニスを塗ったりして時間をかけて少しずつ作り、心を込めて仕上げたものです。渡すことが惜しいくらい素敵に仕上がっていて、「人にあげるための物を一生懸命作る」姿に成長を感じました。星組さんに内緒で作ったり準備したりしていた(つもりの)風組さん。星組さんも分かっていた当日まで見て見ぬフリをしてきていました。どちらも素敵ですね。

卒業式でのお別れはできないので、お別れ会が一緒に集まる最後の日となりました。風組さんからは、「遊んでくれてありがとう」「大好きだよ」「ウサギのお世話を教えてくれてありがとう」「小学校でも頑張ってるね」などのことばが、星組さんからは、「プレゼントありがとう」「うれしかったよ」「星組になったら頑張ってるね」などのことばがありました。

その後は、風組と花組が入れ替わり、花組さんと星組さんとのお別れ会も行いました。花組さんには「お別れ」の意味は分かりにくいけれども、星組さんが大好きな気持ちは花組も同じです。心を込めてプレゼントを渡していました。やさしかった星組さん本当にありがとう。風組さん、本当によく頑張りましたね。心がこもった素敵な会でした。



寸暇を惜しんで遊び納めをする星組さん 卒業おめでとうございます。たくさん思い出を胸に旅立ちます。

お別れ会の後、風組と星組と一緒に遊ぶ姿が見られました。いろいろな学級の先生にかかわる姿も見られ、名残惜しいのだなと思いました。

一年間、「つながり」にお付き合いいただきありがとうございました。コロナ禍で園生活の様子を皆様に覗いていただけない分、少しでもお便りでお知らせできればという思いでしたが、あまり頻繁には発行できず申し訳ありません。お世話になりました。